

平成27年度学校自己評価 成果と課題

宇城市立小川中学校

内容	番号	項目	成果(○)と課題(△)、及び対策(→)
豊かな心	1	生徒は、あいさつをよくしますか。	△あいさつができて、進んでできていない。→大きい声で、自分から進んでする事を頑張らせたい。
	2	生徒は、学校に来るのを楽しみにしていますか。	→生徒がやる気をもって学校に登校し、安心して活動できるよう、日課を工夫し、生活アンケートなどにより実態を把握していく。
	3	生徒は、友達と仲良く生活できていますか。(行事・集団活動への積極的参加)	○行事には積極的に取り組む。→行事に向けての確実な取組等を通じて、生徒同士のラポート関係を高めていく。
	4	生徒には、社会のルールを守る態度が育っていますか。	△教師の頑張りが生徒や保護者に伝わっていない面がある。→伝える手立て、一緒に考える機会を持つ。生徒会活動をもっと活用していく。社会のルールの大切さを感じさせる場面を学校と家庭で意識して設定していく。学校では、道徳・朝・帰りの会で、家庭には文書や懇談会での啓発を図る。
	5	生徒には、命の大切さや思いやりのある態度が育っていると思いますか。	△思いやりの足りない言動が見られることがある。→いじめや差別につながる言動を見逃さない感性を高める指導を徹底する。
	6	生徒は、毎日家の手伝いをしていますか。	△この観点非常に低い。→家庭生活の役割分担を高める啓発をPTA活動を通じて行っていく。
	7	学校は、一人一人の生徒を大切にした指導や対応ができていますか。(個に応じた教育課程とその指導ができていますか)	△特別支援の手立てがしている生徒への指導→生徒を安定させるための日課を工夫する。
	8	学校は、いじめや問題行動があったとき、すぐに対応していると思いますか。(組織的対応をしているか)	△いじめや問題行動に対して、解決に向かわせるスピードがやや遅く感じられる。→生徒指導の出口を常に意識し、深刻な状況にならないうちの適切な対応を全職員で意識する。
確かな学力	9	生徒は、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	△生徒に満足感を与える授業をする必要がある。→知的好奇心、情意面、学習の成功体験を高めていく。
	10	生徒の学力(基礎・基本)は、ついていていると思いますか。	△特別支援の手立てがしている生徒への指導→生徒を安定させるための日課や指導方法を工夫する。
	11	生徒に学力(思考・表現力)をつけさせる授業が、工夫されていると思いますか。	→言語活動のスキルを身につけさせ、学習のねらいに応じたアウトプットを達成させる指導を充実させる。
	12	生徒は、学年に応じた内容や時間の家庭学習をよくやっているといますか。(毎日100分以上の家庭学習、アクティブラーニング)	△学力に関しては個々の問題、意識の差がある。→家庭学習の充実に関して中学校全体及び中学校区で連携して充実させる取組を図る。
	13	生徒は、学校や地域の図書館を利用した読書や、自分で本を購入して読書をしている方だと思いませんか。	△読書量の少なさが課題→実際に読書をする時間がなかなかとれない現実がある。朝自習の時間に時間をとる対策も必要。 △図書館利用が少ない。→国語科で、図書館を授業の中で使うことを計画していきたい。
健やかな体	14	生徒は、早寝・早起き・朝ごはん等の健康づくりの習慣が身についていると思いますか。また、生徒の健康管理が家庭でできていますか。	△早寝・早起きの習慣が十分に身につけていない生徒がいる。→情報端末の利用について、家庭における指導がしっかりとされるよう、PTAの啓発を図る。
	15	生徒は、う歯(むし歯)がない、もしくは治療ができていますか。	○う歯治療率は70%を超えて良好。→フッ化物洗口も行い、成果が期待できる。
	16	生徒には、授業中の立腰姿勢の意識は育っていると思いますか。	△まだまだ、立腰姿勢の意識が不足している。→そのつど声かけをする等、立腰を徹底させていく。
	17	生徒に、体育や部活動を通じて体力の向上と強化が図れていると思いますか。	○成果は出ている。→今後とも取組を継続していく。
	18	生徒には、食に関する正しい習慣が身についていると思いますか。	△食事マナー、偏食等、指導を継続していきたい。

教育環境	19	学校は、生徒が自ら気づき、考え行動する清掃活動を推進していると思いますか。	△清掃活動が弱い。→掃除することの成果をもっと伝えていく。自分達で美しい学校を保っているという意識を持たせる。(美化コンクール、写真による紹介、風光る丘賞など) 掃除も、しっかり回って適切な声かけをする。
	20	学校は、校舎内に温かみとセンスある掲示物(生徒の作品など)を掲示していると思いますか。また、対外的に情報提供に努めていますか。	○教師の朱の書き込まれた生徒作品が掲示してある。また、学校の情報提供として、学校だより、学年だより、安心安全メール、学校ホームページも充実してきた。
	21	生徒は、意欲的にボランティア活動に参加していますか。	△ボランティアへの参加が一部の生徒にとどまってしまった。→生徒たちへの意識付けをもっと行うべきであった。次年度は生徒会委員会組織にて活性化を図る。
	22	学校は、校舎内の安全点検を欠かさず行い、交通安全に関する指導を適切に行っていると思いますか。	△平成29年度、校舎大規模改修を控え、点検にかかる内容が見られている。 △登下校時の自転車交通事故が発生した。→交通安全に関する具体的指導の徹底と、教師による登下校時の交通安全指導を図ると共に、PTAと連携したい。 △教室の窓ガラスの過失による破損が数件あった。→安全な生活を送らせるための生活指導を徹底する。
	23	学校は、地域人材の活用を図っていると思いますか。	○ふれ合い小川塾を実施し、地域人材の教育に対する流れを構築できてきた。→今後さらに、効果的な地域を巻き込んだ取組を企画していく。